

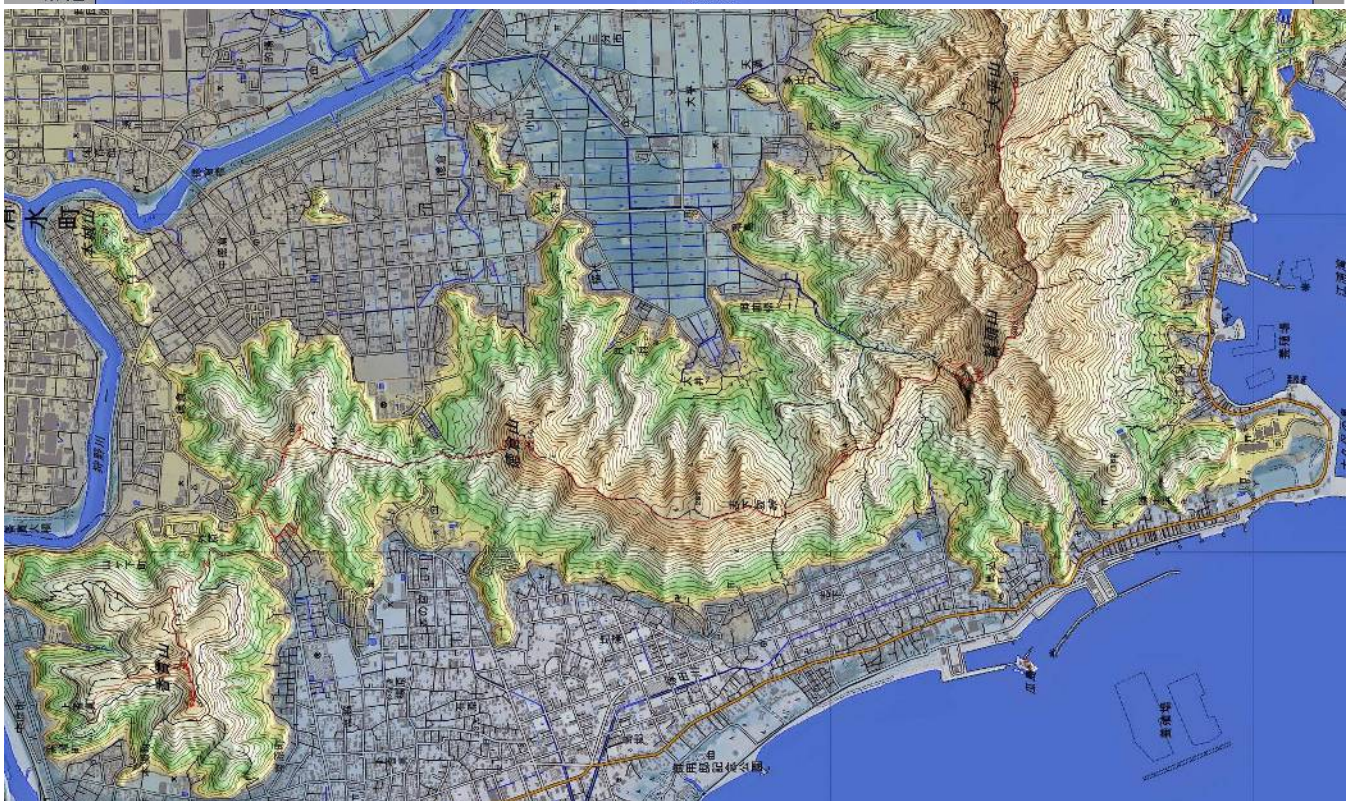
2017年12月19日(火)晴 沼津アルプス 個人山行
沼津アルプス最高峰： 鷲頭山 392m (廣田、駒田 計2名)

コース距離： 11.9km、 所要時間： 6時間20分 (休憩含む)

コースタイム： 香陵台駐車(6:15)→(6:30)香貫山→(6:35)展望台(6:59)→
(7:04)香貫山→(8:02)横山→(8:43)徳倉山(9:07)→(9:48)志下山→
(10:23)小鷲頭山→(10:37)鷲頭山→(11:18)多比口峠→(11:32)大平山
【食事休憩】(11:55)→(12:03)多比口峠→(12:35)多比バス停

下山後： 多比バス停(12:40)⇒(12:55)二瀬川バス停→(13:30)香陵台

*行程グラフ と 山行軌跡



アクセス： 19日 0時にJR島本で駒田氏を乗せて大山崎ICより高速に入り、富士川SAで一時間仮眠をしてから沼津ICで高速を降りて一般道で香陵台駐車場に6時前に到着する。

山行記： 駐車場に来る時、香陵台への取付道ではウォーキングで登って行く人たちを多く見かけた、登山準備をしている間には車で来る方も居られた。

6時15分駐車場より香貫山を目指して歩き出す、日の出前で灌木があり登山道は薄暗い中に行くが人には出会わず香貫山から展望台へ行くと登って来られた地元の人と出会えた。

展望台からは雄大な富士山が観る事が出来る、少しずつ富士山が赤色を帯びて行く様子を観ているが風も有り非常に寒さを覚える。

東側は伊豆半島の山並みが見えて一点が明るくなってきている、もうすぐ日の出なので太陽が顔を出すまで待つことになり7時すぎに完全に太陽が顔を出したので、香貫山まで戻り沼津アルプス縦走を始める。

香貫山から一般道に降りてから横山への道を思い出せず迷ったが、地図を見詰めると降り口から200m以上一般道を歩いて移動することを突き止めやっと登山口を見つける。

沼津アルプスへの急登が始まる、今日は足へのサポーターを着用していないため膝に負担が掛かる、150m程の急登を登ると今度は100m程急な下り坂で、下りきると又150mの急登が始まり徳倉山に到着し、朝食のにぎりをほおぼる。

徳倉山からも灌木の隙間から富士山が望める、食事を終えて記念写真を撮り先へ進む、数回上り下りを繰り返す、途中駿河湾や伊豆半島の山や身延山地の山々が見渡せ、東側は東駿河湾環状線（道路は帰宅後地図で確認）の道路が良く見える。

登山道を歩いている間、天気予報では風は2mとなっていたが強風が吹き荒れているが登山道は灌木で風は避けられている、10時23分急登を登りきると小鷲頭山に到着し富士山を確認できる。

小鷲頭山から15分程で鷲頭山に到着したが灌木が邪魔をして富士山は枝の間からしか確認できなかった。

また150m程の急坂を下るが風は一段と強く吹いて来るが灌木で避ける事が出来て助かる、下り口の多比口峠を越えて大平山に向かう山頂は広場になっている分風が吹いてくる、ベンチが有り比較的風が遮られているので食事休憩を摂るが見晴らしは灌木で遮られている。

山頂からの帰り時に初めて一人の登山者とすれ違った、多比口峠に戻り多比側に下って行く、風を避けられて日向の場所を探しながら下ったが見当たらず海岸前の国道バス停に下山する。

* 下山後はバス移動

バス停で時刻を調べている時にバスが来たので確認せず乗り込みバスは発車する、途中で横道に入り運転手に確認すると下車予定の裁判所前には行かないとの事で途中下車してGPSで地図を確認しながら香陵台に帰り着く。

* 宿泊施設へ

香陵台から車で沼津港に向かい、干物の土産を買ってから食堂で食事する、此処だから食せる「マグロ三味の造り・カサゴ唐揚げ・クルマエビのフライ」等食してから宿泊先に向かい、到着前にスーパー銭湯に立ち寄り汗を流して宿に入る。

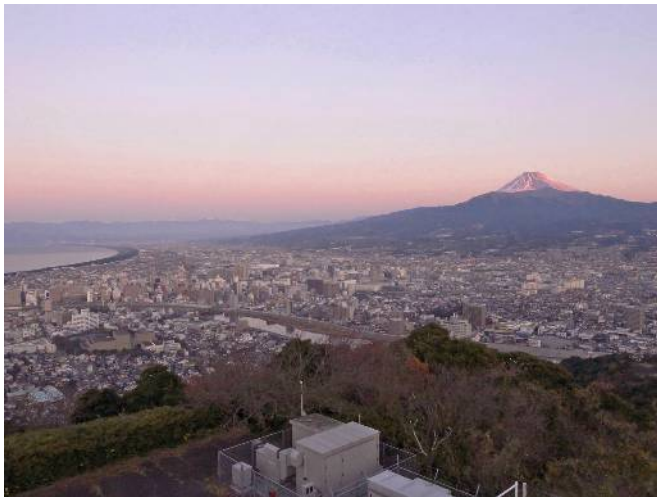


夜明け前の富士



赤く染まってきた富士

(香貫山展望台から)

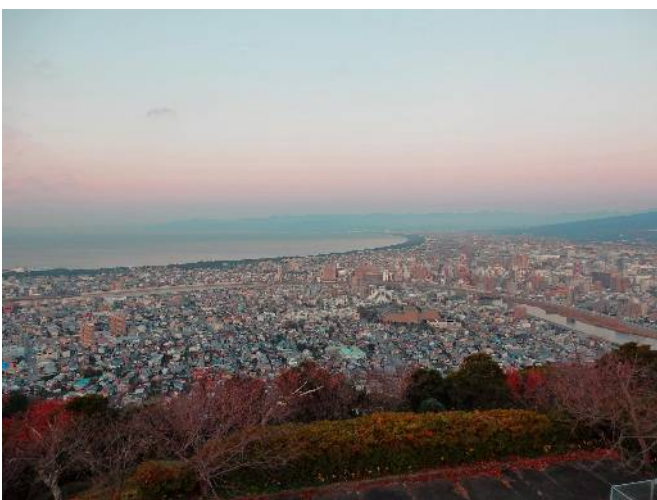


片浜公園・身延山地・富士山

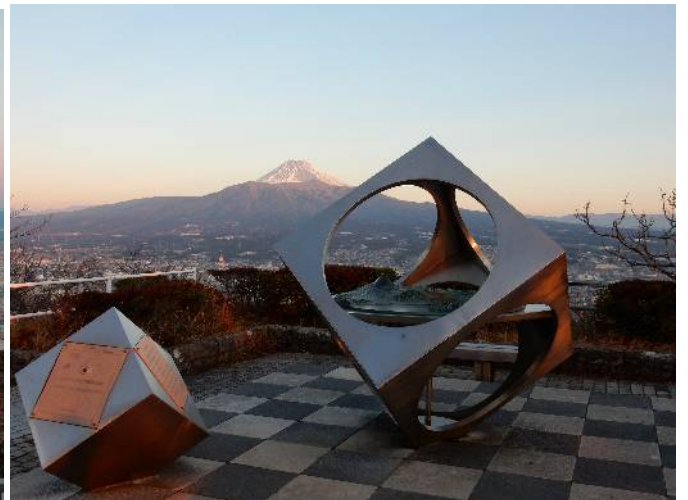


伊豆半島より日の出

(香貫山展望台から)



千本浜から片浜公園



香貫山展望台

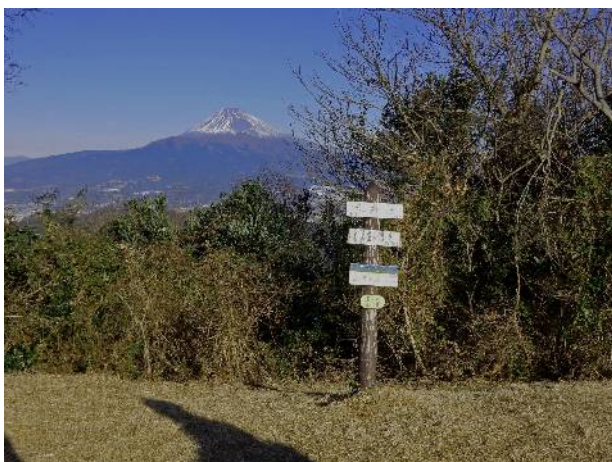


左：香貫山山頂

横山岳の登り口



左：横山への登山道、奥は急坂で道が見えない
横山の山頂



徳倉山の山頂



静浦漁港、奥は伊豆半島



志下山の山頂



小鷲頭山の山頂



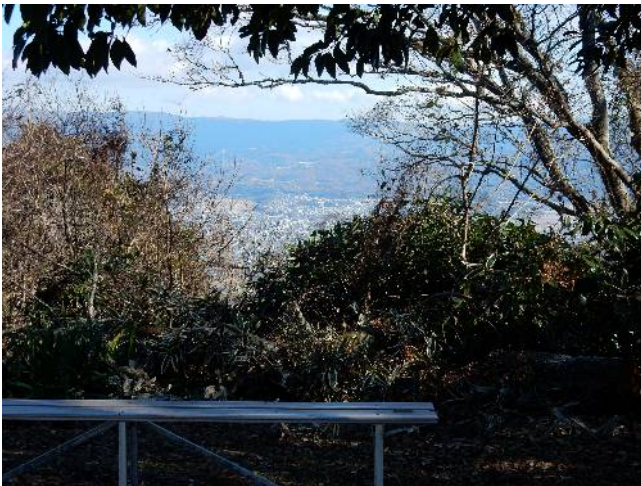
小鷲頭山からの富士山



小鷲頭山から富士山と駿河湾

右：鷲頭山にある古木

鷲頭山の山頂



鷲頭山より東駿河湾環状線方面



大平山への登山道より



大平山の山頂